



巻頭言

謹賀新年

岡山県作業療法士会

会長 西出 康晴



新しい年を迎え、ご挨拶を申し上げます。

岡山県作業療法士会会員の皆様にとって、2025年が健康で幸福な1年になることを心から祈念申し上げます。平素から県士会活動にご協力をいただいております会員、賛助会員、関係諸団体の皆様に心より感謝申し上げますとともに、本年も引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年は、対面での研修会が解禁となり、会員と直接お会いし、交流することができるようになりました。2月の県学会では多くの会員に集まっていただき、これまでにない盛況な学会であったと思っています。何よりも多くの会員が同じ場所に会し、さまざまな形で同時に、そして多次元にコミュニケーションをとっている様子を見ることができ、やっと本来の県士会活動がもどってきた感がありました。また、会員同士のさまざまなふれあい・交流はどれも作業療法士らしく、和やかでかつアカデミックな印象であふれていました。学会関係者はもちろんですが、参加いただいた会員皆さんに心から感謝したいと思っています。そして、6月、新人歓迎研修会でも新たな作業療法士を県士会に迎えることができました。研修会そして懇親会と多くの方と1日を過ごしましたが、終始、新人はもちろん、若い会員のエネルギーにあふれた姿を目の当たりにし、喜びを感じました。最高の機会でした。この活気と若いエネルギーが永続的に続くことを切に願うところです。

また、昨年を振り返ると、例年通り、多くの事業を計画的に実行してきましたが、特に「県士会の支部制の導入」の準備が整ってきました。まずは身近なところで県士会事業に参加いただけるよう、積極的なご参加をお願いします。現場の生の声を聞かせていただき、共に作業療法を盛り上げられればと思っています。

県士会の動きに遅れながらも、協会も現場の施設との連携の重要性に気づき、取り組みを開始したところです。合わせてご協力いただきたいと思います。また、協会主導で動いています「協会員＝士会員」もより具体的な作業プロセスを進めていく段階に入ってきています。会員制度の整備、定款および定款施行規則等の整備を進めてまいります。総会等で情報発信しながら、進めてまいります。ご協力よろしくお願い致します。2025年は、団塊世代（1947～1949年生まれ）が75歳以上の後期高齢者となることで、社会保険費の負担増や働き手不足などの問題がおこることが我々の身近な話題としてご存知のことと思います。また、地域包括ケアシステム構築の目処の年にもなります。超高齢化社会の中で、作業療法士のニーズや役割は増える一方であると思います。

干支は「巳（へび）」です。巳は古来より水神として崇められ、豊穡や天候をつかさどる神として信仰されてきました。また、脱皮することから「復活と再生の象徴」としても扱われているそうです。県士会活動もこれまでの活動を振り返り、その実績を大切にしつつも、新たな未来に向け、常に脱皮する意識で、改善と推進を繰り返していくことを目指したいと思っています。半歩でも、歩みを止めないよう、進めたいと思います。会員の皆様のご理解とご協力を賜りたいと思います。

中国地区作業療法士会合同研修会

令和6年10月5日（土）、6日（日）に広島県士会主催で中国地区作業療法士会合同研修会が広島国保会館にてハイブリッド形式で開催されました。

岡山から現地5名、Web2名が参加しました。1日目はセミクロード研修会で各県の県士会長による士会の現状報告がありました。そして甲斐野正行 弁護士（広島メープル法律事務所）による「法人運営に必要な個人情報保護や著作権保護の法的知識」というテーマで講義がありました。士会を運営するにあたり、改めて個人情報の管理や著作権について整理し学ぶことができました。2日目は各県の担当でグループワークを行いました。①会長会議、②子供分野、③災害支援、④循環器病関係・対策のテーマに分かれ、各県の状況や取り組みについて意見交換を行い、連携や親睦を深める事ができ、とても充実した合同研修会になりました。来年度は山口県、再来年度は岡山で開催予定なので、少しずつ準備をしていきたいと思います。

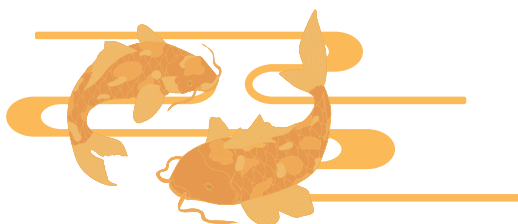


中国地区作業療法士会合同研修会 担当 西 悠太（倉敷平成病院）

岡山県作業療法白書発行

今回の「岡山県作業療法白書2024（第6号）」は5年ぶり、6冊目の白書になります。

2024年度は医療・介護・障害福祉のトリプル改定の年であり、アンケート調査の時期を遅らせ、オンラインの調査にしました。最終的には施設代表者65.9%（168/255）、個人調査26.1%（299/1146）でした。業務多忙の中、アンケート調査にご協力をいただいた会員の皆様に感謝を申し上げます。現在、編集作業中で、今年度中にお届けできるように準備中です。是非、手に取っていただき、白書が作業療法士を必要としている方々や会員の皆様、県士会活動に寄与できることを切に願います。



調査部 部長 西悠太（倉敷平成病院）



備中支部 『支部説明会開催』

10月15日19時半より備中支部説明会をWeb開催しました。30分という短い時間でしたが、飛び込み参加も入れて約40名ご参加いただき、支部制に至った経緯と備中支部の方向性や今後の活動について説明させていただきました。なかでも、繋がり作りに開始したオープンチャット（以下、オプチャ）では相談や研修広報など行われています。今回、皆様のご意見として、「研究活用したい」、「診療報酬改定に伴う疑問や工夫を共有するなど効率アップに活用したい」など、オプチャ活用案を頂くことができました。このようなご意見をいただきながら、備中支部では個人施設単位から地域単位の繋がりを作り、皆様の臨床に好循環を起こしていきたいと思っています。交流会なども企画して皆さんとつながっていきたいです。

まずは、ぜひオプチャにご参加ください。

もうすぐメンバー100人突破です！！一緒に備中支部を作り盛り上げていきましょう！

備中支部 担当：稗田 玲子（渡辺病院） 小坂 美江（しげい病院）



備中支部オープンチャット



美作支部-活動案内-

第2回 美作支部 交流会

日時：令和7年2月15日 土曜日

14時頃より開始予定

内容：岡山県学会の予演会を含めた茶話会を検討中

場所：アルネ津山 学習と発見の部屋

詳細が決まりましたら、県士会HP、公式LINE、美作支部オープンチャットにてお知らせいたします。



美作支部オープンチャット



学術部学術誌編集部門

「論文執筆のキホン（初学者セミナー）～事例報告編～」

学術誌編集部門 大野宏明（川崎医療福祉大学）

2024年10月30日に、「論文執筆のキホン（初学者セミナー）～事例報告編～」をテーマに、井村亘先生（玉野総合医療専門学校）、真鍋圭先生（川崎医療福祉大学）の2名の講師によるWeb研修会を開催しました。今年度は、事例報告の学会発表から論文化までの流れから各方法の実際について、できるだけ具体的かつイメージできるように示していくという工夫を凝らした講演が行われました。県内外から21名の参加があり、「事例報告の書き方を丁寧に細かく教えていただけてよくわかった」「事例のを見つけ方から実際に論文が完成するまでの過程を学べ、具体的にイメージすることができた」との声が聞かれ、今後の学術的取り組み意欲の向上につながる内容となったようでした。また、今後の論文執筆に向けた課題については、「身近に相談したり指導いただける方がいない」という声が多くきかれ、学術誌編集部門が開設している「研究的取り組み促進に向けた相談窓口」の利用についても広報を行いました。今後も、学術誌編集部門では、会員の学術的スキルアップに向けたサポートを行っていききたいと思います。



広報部 アピール部門

玉野市「元気が一番！展＆食育展」ブース出展

10月20日（日）に、玉野市のショッピングモールメルカで「元気が一番！展＆食育展」が開催されました。広報部アピール部門では毎年県士会ブースを出展しており、今年も例年同様出展致しました。コロナ禍以降、イベントが展示中心となり参加者も減少していた印象でしたが、今年は高齢者や家族連れなどのイベント参加者が増加。ブースに訪れる人も想定していた以上に多く感じました。展示中心のためパンフレット配布や作業療法についての口頭での説明がメインでしたが少しでも作業療法について関心を持ってもらえるようアピールしました。



広報部 副部長

谷 有人（旭テクノプラント 株式会社）



事業部 移動支援班



教習所における高次脳機能障がい者の実車評価



～(一社)岡山県指定自動車教習所協会、(一社)岡山県作業療法士会による合同研修会～

第2回となる(一社)指定自動車教習所協会との合同研修会を令和6年11月21日に岡山免許センターにて行いました。参加者は、岡山県下の各校所から13名の教習指導員、作業療法士3名、医師1名でした。本研修会は昨年度から、岡山県下で高次脳機能障がい者への支援の標準化を図ることを目的に、実技の共有や知識と経験の共有を図っています。午前中は岡山県運転免許センター職員から「障がい者における法律について」のお話しをしていただき、その後は県内で精力的に移動支援に関わっている作業療法士や教習指導員から具体的な実車講習に関する支援の内容、これから支援をはじめめるために必要なこととお話しいただきました。午後からは教習指導員、株式会社フジオートより、実際の教習車輛や改造車輛を使用し「高次脳機能障がい者の実車講習」、「改造車輛の実体験や注意点」について、また作業療法士からは「神経心理学的検査の体験や解釈」についての実技体験を行いました。

改造車を運転することの難しさや、評価の実技を体験することで、実車講習の重要性の理解に繋がったと思われます。また意見交換では各施設が継続的に支援できる体制を構築するための実状を共有することができました。

今回の参加者は、連携の必要性を感じている方が多く、引き続き教習指導員との「顔の見える連携」を行い、県下でのよりよい連携ができるよう努めていきたいと思えます。今後ともぜひご参加ください。

事業部副部長 移動支援班 山本 昌和(岡山旭東病院)



高次脳機能障害者の実車評価体験



改造車の体験



神経心理学的検査の体験



講義の様子



学術誌「作業療法おかやま 34 巻」

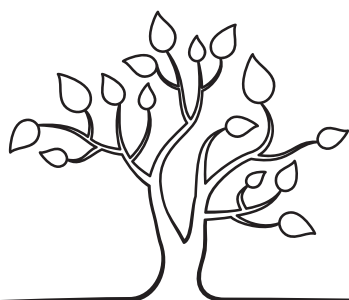


1月に学術誌「作業療法おかやま34巻」が発行されました。今回の特集テーマは「認知症になっても暮らしやすい街づくりを目指して」です。2025年の認知症患者数の将来推計として約730万人、高齢者の5人に1人が認知症になるという推計が厚生労働省から示されました。そこで、2024年1月に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法（認知症基本法）」が施行され、認知症者だけでなく、家族や取り巻く方々が安心して暮らせるような社会を作ることが期待されています。そのような時勢の中、認知症に関わる各領域で活躍されている4名の作業療法士に執筆いただきました。

認知症高齢者の尊厳と希望、地域住民の認知症への理解と協力の普及、認知症者を取り巻くサポートシステムの構築による共生社会の実現を目指して、作業療法士が各々の役割の中で専門性を発揮し、地域の中で奮闘している取り組みは、非常に興味深く参考になる内容となっています。是非ご覧ください。また、学術誌編集部門では第35巻の投稿論文を募集しています。

日々の研究や臨床での取り組みを論文にまとめてみませんか？学術誌編集部門では、学術的取り組みへの相談にも応えていきたいと思っています。是非ご相談ください。

学術誌編集部門 大野宏明（川崎医療福祉大学）



子ども地域支援委員会

「放課後児童クラブのことについてもっと学ぼう！」

12月5日（木）に「放課後児童クラブのことについてもっと学ぼう！」～理念、専門性、生活、遊び、発達の気になる子どもへの支援について～をテーマに、枝松篤志先生（とみた児童クラブ 所長、放課後児童支援員）による研修会を開催いたしました。学童保育という場所についてとても理解しやすい内容でした。支援員さんが一人一人の子どもの気持ちを大切にしておられることがよく分かりました。支援員さんの姿勢や態度が子どもたちの心を育てる（ケアする）ことにつながっていると感じました。また、子どもの心を育てるという考え方は、作業療法士である私たちも大切にしないといけないことであると感じました。

子ども地域支援委員会 委員長 森川 芳彦（川崎リハビリテーション学院）





「ロードバイクで行く夫婦二人旅」

池上 浩禎 20代 川崎医科大学総合医療センター
弥那美（妻） 20代 川崎医科大学附属病院

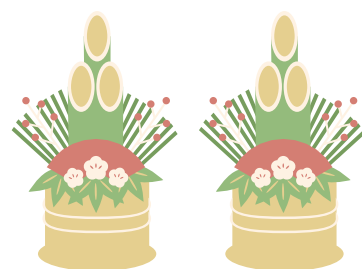
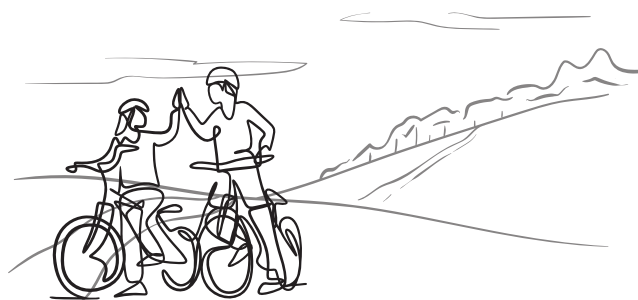
はじめまして、私は急性期病院で働いています。私ごとですが妻も作業療法士をしており、妻は回復期病棟で勤務しています。回復期ということもあり休日出勤が多く休みが合わないことも多いのですが、休みがあったときに行う、就職してから始めた趣味があります。それはロードバイクです。始めたきっかけは、通勤用に妻が自転車を買っていくとのことで2人で自転車屋さんに行ったのですが、店員さんに説得され、なぜか2人ともロードバイクを買っていました（汗）。最初はお尻が痛くなったり、タイヤが細く車体がふらつくため怖かったのですが、慣れてきた頃には自分次第でどこでも行けるところや、風を切る気持ちよさの虜になっていました！！

皆様はロードバイクと聞いてどんなイメージがありますでしょうか。「ピチピチした服を着ているやつ？」と聞かれることが多いのですが、正解です。最初は少し抵抗感がありましたが慣れてきます。長期休みの際などはロードバイクのライドチームに夫婦で参加しており、しまなみ海道や小豆島などに行かせていただきました。景色が良くとてもおすすめです。近場では夫婦で備中国分寺まで行くことがあります。道もきれいで自転車で走りやすく、春には桜がとてもきれいですのでおすすめのスポットとなっております。

運動不足だなと日頃感じている先生はぜひロードバイクを始めてみてはいかがでしょうか。



しまなみ海道





学術部老年期部門

“自分で食べる”を支える ～摂食嚥下ケアのポイントと実践

今回の研修会は『“自分で食べる”を支える ～摂食嚥下ケアのポイントと実践～』というテーマの基、約20名が参加された対面での研修会でした。

講師の黒住先生から食事に必要な解剖学や生理学などの講義、実技では臨床で直ぐに実践できる食事の時の車いすのシーティングや食事介助の姿勢やポイントなどについて話がありました。

特にシーティングでは、黒住先生が長年研究されている内容も講義の中に含まれていたため、学びがある時間だったのではないかと思います。



学術部老年期部門 石井将人（株式会社 富永調剤薬局）

あいサポート運動を 広げよう



「あいサポート」とは「愛情」の「愛」、私の「I」に共通する「あい」と支える、応援する意味の「サポート」を組み合わせ障害のある人を優しく支え、ちょっとした手助け（*）をすることを意味しています。

「あいサポート運動」とは様々な障害の特性を理解して障害のある方が困っていることに対して、ちょっとした手助けや心くばり（*）などを実践することで誰もが暮らしやすい地域社会（共生社会）を目指していく運動です。

あいサポート運動は岡山県が実施している運動です。

* ちょっとした手助けや心配りの例

- ・ 困っていそうな人を見かけたら「何かお困りですか？」と声を掛けてサポートする
- ・ ご高齢の方やお身体の不自由な方に公共交通機関で席を譲る
- ・ 必要と思われる方にヘルプマークを紹介する

（岡山県ホームページより）



岡山県作業療法士会は、「あいサポート運動」の趣旨に賛同し、あいサポートの輪を広げる活動を行っています。



中島美音 20代
津山第一病院 作業療法士 1年目



今回、私が紹介する作業療法士は中島美音さんです。

現在、津山第一病院で、整形疾患や脳血管疾患の回復期を主に担当されています。

作業療法士1年目で、初めての臨床現場でいろいろな経験をしながら奮闘されています。仕事の魅力は、患者さん一人一人に時間をかけながら、今後の転帰先に合わせた支援ができることが魅力だそうです。今後の目標については、徒手的な技術だけでなく、患者さんとのコミュニケーションからうまく患者さんのニーズを聞き出し、患者さんにあった目標の共有ができるように頑張りたいと語ってくれました。

そんな中島美音さんがハマっているものは、フィルムカメラです。

中島さんが、フィルムカメラにハマった理由は、カメラ好きの友達の影響だそうです。

はじめは『写ルンです』から始めて、今では4機のお気に入りカメラで写真を撮られています。中島さんがデジタルでなく、フィルムカメラにこだわるポイントを3つ教えてくれました。

1つ目は、「フィルムで残すタイムカプセル」

現像するまでどんな写真が撮れたのかわからないことです。フィルムを使い切ってから現像すると、3か月前や半年前の写真と出会うことがあり、ちょっとした懐かしさから二度楽しめます。

2つ目は、「ノスタルジックなエモい写真」

今では、スマホや一眼レフ、ミラーレスは高画質で綺麗に撮れるカメラが多くありますが、フィルムカメラはそんなデジタルカメラが作られる前に登場したカメラで、ノスタルジックな粗さでエモい写真を撮ることができることです。

3つ目は、「使えば使うほど味がでる」

カメラが壊れていつからか写真を現像すると赤い線が入るようになったのですが、写真によって赤い線が強く出たり薄く出たり様々で、この線がなんとも言えない味を出しています。そのほかにも、フィルムの原料である石油でお財布事情に影響が出たり、フィルムの種類で写り方が変わったり、現像する紙質で仕上がりが違ったりと面白いポイントがたくさんあると熱く語ってくれました。

最後に、「フィルムカメラで撮る写真は失敗なんてない、むしろ失敗したかなって方がいい写真になっている」と名言をいただきました。

以上、フィルムカメラを愛する若手OTの中島美音さんでした。

岡山県作業療法士会のホームページではカラーで掲載しております。

ぜひ、中島美音さんがとられた写真をご覧ください。

中島美音さん、ありがとうございました。



広報部 栗本大生（倉敷中央病院）



OT奮闘記

Melbourne, Australiaのハンドセラピックリニックを訪問して

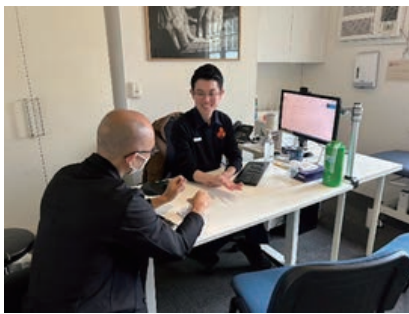
藤井裕康（福山市民病院 井笠・備後ハンドセラピィ研究会）

この度、2024年9月9日から13日までの5日間、オーストラリアのメルボルンにある Melbourne Hand Rehabというクリニックで研修を行いました。

こちらの記事では、私が施設訪問を通して学び得た知識や視点を皆様と共有致します。

私が感じた一番大きな日本とオーストラリアの作業療法・ハンドセラピィの違いはなにかというと「患者さんがいかに能動的に自己の回復に責任感を持ち、主体性を持ってリハビリテーションに取り組めるようになるかということに注力している」ことかと思いました。クリニックの作業療法士や理学療法士は「相談役」のような位置づけのように見え、40分のセッションがあれば、30分は評価、指導と教育で占められており、残りの時間で自主練習を指導するようなイメージでした。患者さんが能動的になってもらえるようにするアプローチは本邦のおいても適応がある患者さんは多くいるのではないかと思いますので、今後活かしていきたいと思います。

井笠・備後ハンドセラピィ研究会のYouTubeでは更に詳しく語っています！ぜひチェックしてみてください！



各OTに一つ部屋が用意されている



Karen Fitt先生と

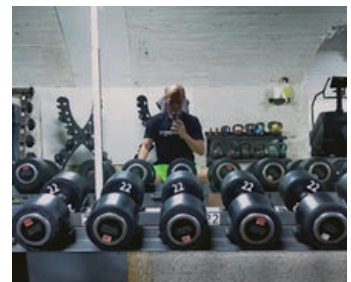
創設者Karen Fitt先生はオーストラリアハンドセラピィ協会前会長で、私に研究プレゼンと意見交換の機会をくださり、ディナーもごちそうくださりました。大変貴重な時間を過ごせました。オーストラリアの方はフレンドリーで優しく、ポジティブです。何事もポジティブにとらえる姿勢は心地よかったです。私も私生活では、物事や人の良い点をフィードバックし、楽しい人生が送れるようにしたいなと思いました。このように異国の文化に触れることは、自身の価値観の変化にもつながります。ぜひ皆様も、海外に積極的に足を運んでもらえたらと思います。ちなみに私は英語を聞きすぎて毎日燃え尽きていましたが、そのうっぷんを晴らすべく現地のジムにはしっかり通いました！とても器具が充実していて良かったです。メルボルンに住みたくなりましたね。皆様も是非！



研究プレゼンテーションの様子



Karen先生やスタッフの方との夕食



Dohertys Gym City, Melbourne



理事会報告

2024年度第3回理事会議事録

日時:2024年9月19日(木) 19:00~20:48 場所:岡山県作業療法士会事務局 ZoomシステムによるWeb会議

○全会員数 1146名 入会 13名 退会 6名 9月3日現在

審議事項

会長

1. 2024-2025年度 検討課題

1) 定款の改定 2) 定款施行規則の改定 3) 各種の規定ならびに内規の作成および改定

・協会が進める「協会員」＝「士会員」の開始に向け、県士会定款および定款施行規則を改定する必要がある旨の説明があった。合わせて、これまで意見があった新制度等の検討、創設を行う。スケジュール予定としては、2027年の「協会員」＝「士会員」開始の時期に合わせ、2026年度末の総会までに承認を得ることとしたい。→承認

事務局

・後援依頼(1件)

公益社団法人認知症の人と家族の会主催、「第4回オレンジメモリーウォークIN倉敷」の後援→承認

地域包括ケア推進委員会

・OT協会は全県下市町村に市町村職員と意見交換及び職種アピールができるOTの配置を目指している。岡山県でも3年前の配置から、まだ体制不十分な状況である為、県士会理事に協力を依頼したい。→承認

OOT協会

・OT協会主催2024年度第2回地域事業支援会議において、聴講者として竹田和也氏(金田病院)、有時由晋氏(岡山光南病院)が参加。→承認

○地域社会振興部

・事業部、地域包括ケア推進委員会、認知症支援委員会、MTDLP推進委員会の部、各委員会での組織編成について、各役割を考慮して、組織を3つに分ける。令和7年の総会での部設立に向けて調整をする。→承認

学術部

○学会準備サポート委員会

・第37回岡山県作業療法学会について、令和7年3月15日午後~3月16日に川崎医療福祉大学を会場として行いたい。→承認

・第36回岡山県作業療法学会の資料について、参加者に配布予定であったがパスマーケットが使用できなかったため、配布できていない。施設代表者メールやLINEを用いて広報し、パスマーケットを用いて配布してもよいか。→パスマーケットは用いず、学会参加者全員に対してメールで資料を送ることで承認。

子ども地域支援委員会

・学会発表について、昨年度、情報交換会でまとめた放課後児童支援員に対するアンケート結果を提示し、学会発表してもよいかどうかについて再審議した。→承認

中国地区合同研修会

・クロズド研修の担当について、「士会長+α」は西出会長と藤川事務局長、「子ども分野」は森川理事、「災害支援」は西理事、「循環器病関係・対策」は神野 俊克氏(川崎医科大学付属病院)を派遣。→承認

就労支援委員会

・クリオ会議などが中心となり毎年行っている、「障害者ワークフォーラム」へ今年度は県士会ブースの出展を予定している。→承認

広報部

○OTアピール部門

・9月25日「作業療法の日」山陽新聞広告記事について、修正版の再確認を依頼し、理事会内で5点の修正と確認を行う。

→9月20日の修正締め切り期日を以て承認

・岡山県のおしごと本について、内容の確認と他理事への周知。→承認。各自、次年度の審議時の参考用にネット上で同内容の確認をしておく。

太田理事 上程案件

・津山市の企画「高校生のための企業ガイダンス」について、医療福祉ブースに作業療法士の出展の提案あり。県士会としてブースを設けてよいか。→承認

報告事項

事務局

・PassMarketについて、YahooIDを再取得し、運用を再開した。今後は、サテライト事務所に一括管理する。

研修会参加のキャンセル(返金)の対応についてもサテライト事務所にて対応する。

MTDLP推進委員会

・7月28日 第1回MTDLP事例検討会(Web研修会)開催 発表4名 聴講8名

・8月25日 MTDLP基礎研修会(Web研修会)開催 参加者31名

地域包括ケア推進委員会

○岡山県リハビリテーション専門職団体連絡会

・地域連絡会について、備前ブロックは8月21日に市町村とリハ職の地域連絡会を対面で行った。「リハ職が地域支援に関わる仕組みを教えます」「玉野市での地域ケア会議と介護予防事業の様子」の話題提供があり、OTは8名参加。

備中南ブロックは11月14日にリハ職の地域連絡会を開催予定。備中北ブロックと美作ブロックは開催未定。

・7月21日にSU研修をZoomで実施。参加者は35名(OT16名)

保険部

・令和6年度 保険部研修会について、県学会と合わせて実施することを検討中。

・公明党と自民党への要望活動について、令和6年9月上旬より調査部の協力のもと、施設代表者へ向けた調査を開始し、現在、集計中。

・会員から「報酬改定時の変更に対するアナウンスを設けているか？」といった内容の質問があり、回答として、岡山県士会公式LINEと施設代表者メールを通して複数回アナウンスを実施している為、所属施設の代表者との情報共有を依頼するとともに、未登録であれば岡山県士会公式LINEの登録を勧めた。

事業部

・11月1日~3日に開催予定の第8回リハビリテーション医学会秋季学術集会での合同シンポジウムにて「岡山県における自動車運転再開支援」のテーマで事業部の活動を報告する。発表者は事業部 古澤理事。

・9月3日 作業療法士と介護支援専門員の合同研修会(Web研修会)開催 参加者35名(OT15名、PT1名、CM19名)

教育部

- ・10月27日 第2回現職者共通研修 開催予定
- ・12月8日 現職者選択研修(老年期) 開催予定
- ・2025年2月 第3回現職者共通研修 開催予定
- ・2025年度より生涯教育制度が新制度に移行するため、概要について説明した。

訪問リハビリテーション振興委員会

- ・「第15回訪問リハ・地域リーダー会議」について、8月24日リハビリテーション専門職団体連絡会主催にてWeb開催。約170名が参加。各都道府県POS代表者各1名ずつの参加呼びかけに対し、参加要望を満たしていない他県も複数あった。会議自体の継続とあり方の見直しについて両方の意見があがり、研修会の位置づけについても今後の課題となっている。各県の取り組みや問題点などの現状報告を行い、実務者研修会の参加者登録制度においては、今年度はPT士会が登録。

学術部

○精神障害部門

- ・9月7日 研修会開催 参加者35名。テーマは「精神科領域における評価とアプローチ～それだけでなく精神科 OT が大事にしたい考え方も～」、講師は岩根達郎氏(京都府立洛南病院)。

○学会準備サポート委員会

- ・第37回岡山県作業療法学会について、学会長を杉本努理事、副学会長を黒住千春氏、実行委員長を藤岡晃理事が担当し、「つながら～新たな一歩に向けて～」をテーマに実施予定。10月1日～11月10日に演題募集予定。

○学術誌編集部門

- ・作業療法おかやま第34巻の特集の進捗状況について、3名の著者から原稿を受理し、編集委員による校正中。
- ・投稿原稿の進捗状況は現在、研究論文3本、事例報告1本

の投稿(受理1本、査読中3本)。

- ・10月30日 学術誌編集部門研修会 開催予定。講師は井村亘氏(玉野総合医療専門学校)、真鍋圭氏(川崎医療福祉大学)。現在申込受付中。

子ども地域支援委員会

- ・9月6日 第1回研修会(Web研修会)開催 参加者40名(県士会員25名、中国地区4名、その他の地域11名)、欠席3名
- ・放課後等デイサービスの責任者からの派遣依頼について、お互いの業務内容をよく知らないこともあり、まずは研修会の講師という形で協議し、現在、講師依頼について社内で検討中。
- ・2025年1月19日 美作地区の放課後児童クラブの業者からの講演依頼。
- ・放課後児童クラブ-作業療法士連携事業の情報交換会について委員会を開催し、内容を検討する。
- ・市町村への広報活動について、OT協会からのパンフレットが届き次第郵送の準備をし、発送する。

調査部

- ・岡山県作業療法白書2024(第6号)の回答率について、8月18日〆切時点で施設代表者回答数82/255施設(32.2%)、個人アンケート205/1155(17.7%)。回答期間を延長し、未回答施設に電話連絡を実施。9月9日時点で施設代表者回答数162/255施設(63.5%)、個人アンケート291/1155(25.2%)であった。

広報部

○OTアピール部門

- ・イベントの参加依頼があり、12月14日(土)、アルネ津山にて岡山県看護協会津山支部主催の「つやままちの保健室」でブースを出展予定。

次回理事会 11月21日

事務局からの
お知らせ登録情報の確認・修正について

岡山県作業療法士会における会員の皆様の登録情報の管理は、日本作業療法士協会会員管理システムにて管理(1本化)しています。登録情報の確認・修正は、日本作業療法士協会ホームページの会員ポータルサイトよりお願いします。登録情報に誤りがある場合、発送物が届かなくなる可能性もございます。会員情報(付帯情報)の入力が完了しておられない方は必ず登録をお願いします。

発送について

日本作業療法士協会の発送区分に従い送付する事となりますのでよろしくお願いします。

岡山県作業療法士会の入会・退会・休会について

岡山県作業療法士会ホームページの入会・退会・所属変更をご参照下さい。

休会については、日本作業療法士協会を休会されると、自動的に県士会も休会になります。

休会を希望される方は、日本作業療法士協会のホームページをご参照ください。

年会費について

会員年会費:10,000円

新入会員:11,000円(年会費+県士会入会金1,000円)

原則、全会員が自動引き落としでの会費徴収となります。

まだ、申し込みをされていない方は至急申し込みをお願いいたします。申し込み用紙を紛失された方は事務局までご連絡ください。

※自動引き落としの申し込みをされていない方は7月末までに入金をお願いします。定款規約第10条

第1号 の3項に基づき、2年未納の方は除名になるおそれがありますのでご注意ください。

振込先 中国銀行 奉還町支店 普 1921671

一般社団法人岡山県作業療法士会 代表理事 西出康晴

研修会参加費について

該当年度の会費未納者は研修会参加費が非会員扱いとなっています。

自動引き落とし申し込み済者は会員扱いとなります。研修会へ参加される1週間前の時点で入金を確認できない場合は、非会員扱いとなりますのでご注意ください。



《施設概要》

- 精神科一般病棟
- 精神科療養病棟
- 認知症治療病棟
- 精神科デイケア

《関連施設》

- 多機能型事業所 ひまわり
(夜間宿泊型、自立支援、就労継続B)
- ケアホーム・グループホーム
(ひまわりホーム しらゆりホーム)
- 訪問看護ステーション
(岡山リハ・ケアステーション)
- 介護老人保健施設
(岡山リハビリテーションホーム)
※通所(デイケアセンター)
短期入所(ショートステイ)



中鉄バス/谷万成停留所より徒歩1分 JR古備線/三門駅より徒歩10分

日本医療機能評価認定病院

臨床研修病院指定 精神神経学会専門医研修施設 認知症学会教育施設



万成病院PR動画



特定医療法人
まん なり

万成病院

〒700-0071

TEL (086) 252-2261 (代)

URL <https://mannari.or.jp>

FAX (086) 254-0800

E-mail mannari@mannari.or.jp



「福祉車両があったら楽になるのに…」

でも、

「選び方が分からない」「新車は予算的に無理」

「どこに相談すれば…」



オアシスジャパンでは、福祉車両の ①中古車販売 ②改造 ③レンタカー

④買取り ⑤助成金、税金免除のアドバイス など、お力になれるかもしれません。

(株)オアシスジャパン

☎086-277-4030

岡山市中区江崎210

AM9:00~PM7:00 定休日 日曜

ホームページも見てください!→

オアシスジャパン

検索



岡山県の作業療法士の方へ

滝行より
楽しく学べる



アメポケ

岡山県の医療福祉業界の方々のステップアップを目的とした、学びや面白さの詰まった情報満載の動画配信サイト。専門的なことから、働き方やセルフケアなどが気軽に学べます。しかも、講師のほとんどが岡山の専門家です!

岡山県の医療福祉業界の方々のステップアップを目的とした、情報動画配信サイト

まずはアメポケLINE
公式アカウントからアクセス!

詳細はHPをご覧ください



最新情報から
動画リクエストまで、
LINEなら簡単!



アメポケ会員様限定の
お得な情報あり!





アール・ケアグループ

挑戦はまっ先に。サービスはまっすぐに。

一般社団法人 アール・ケア ホールディングス

株式会社 アール・ケア

医療法人ブランドル医会 ハーヴィスクリニック

NPO法人 アール・ケア スタイル

株式会社 アール・ケア クルーズ

株式会社 アール・ケア | 本社 | 〒706-0134 玉野市東高崎 25-34
Tel: 0863-73-5085/Fax: 0863-73-5077

作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・医師・看護師・薬剤師・放射線技師・社会福祉士・介護福祉士・介護支援専門員・管理栄養士・医療事務…

岡山生まれの岡山育ち リスコは25周年を迎えます



RISUCO

話そうよ 咲かそうよ

2000年に地元岡山で創業してから25年。

リスコは、看護師、リハビリ・医療職、介護職の方々に特化し、全面サポートさせていただく転職エージェントです。性格、価値観、家庭環境…、仕事選びは一人ひとり異なります。だからこそ、リスコは必ず面談を行い、必ずお仕事の現場に足を運び、会って話すことを大切にしています。時代が進み社会のニーズが変わっても、「人と向き合い、心に寄り添う」という思いは変わりません。「人」「職場」「地域(岡山)」のいちばん近くで、求職者様・求人者様それぞれの思いに向き合い、結びつけることが私たちの役割です。

医療・福祉専門職 人材紹介・派遣事業 株式会社リスコ

〒700-0985 岡山市北区厚生町3-1-15岡山商工会議所ビル8F



0120-235-565 (平日9:00~18:00)

<https://www.risuco.com>

リスコ で検索!



【厚生労働省許可番号】紹介 (33-1-300017) 派遣 (派33-300044)

一般社団法人
聖武福祉会



理念

会社の理念として、
スタッフの健康の上で、
産前・産後ケアから亡くなるまで
一貫して福祉サービス提供ができるよう、
今後様々な事業展開をしていきたいと
考えています。

想い

法人代表は作業療法士で、
重度の障がいがある兄と一緒に過ごす中で
本当に必要と感じた福祉サービスを提供したい
という想いで創業しました。



駐車場完備 岡山市北区庭瀬498-2 ☎086-237-7739
駐車場完備 岡山市北区津島東4-19-27 ☎086-259-1620

事業拡大に伴い、随時スタッフ募集中です。
児童福祉・障害福祉にご興味のある方は問合せください。

他の事業所ではリハビリスタッフ1人のところが多いですが、当事業所は複数名リハビリスタッフがあり、一緒に学びながら療育をすることができます。

医療・福祉・介護用品の総合プランナー
(日本義肢協会 中国四国 109 / 指定福祉用具貸与事業所)

株式
会社

舟木義肢



■ 補装具 / 座位保持装置に関するご相談は
舟木義肢 本社 TEL:086-274-6569

■ 舟木義肢 江並支店 福祉用具センター
フリーダイヤル:0120-111-315

東洋羽毛 睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

東洋羽毛では、「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

*オンラインセミナーの開催も承ります。

睡眠セミナー講師は状況に応じて感染予防対策を実施しています。

《お役に立てる主な研修》

- 医療安全対策研修
- 高齢者の睡眠ケア
- 学校保健委員会

*他、施設内研修などご相談承ります
(事前にお打ち合わせにお伺いする事も可能です)

◆セミナーに関しましては、二次元コードより
お問い合わせください。担当よりご連絡させていただきます。
<https://www.toyoumo.co.jp/seminar>



東洋羽毛中四国販売株式会社 岡山営業所
〒700-0845 岡山県岡山市南区浜野4-3-37 ☎0120-224-711



創心會グループ

事業部門：36拠点／82事業所

訪問介護、訪問リハビリテーション
訪問看護(看護・リハビリ・小児部門)
居宅介護支援、通所介護
看護小規模多機能型居宅介護
ショートステイ、グループホーム
特別養護老人ホーム
サービス付き高齢者向け住宅
クリニック(内科・リハビリ科)
福祉用具貸与、住宅改修
保育所、児童発達支援
放課後等デイサービス
就労準備型放課後等デイサービス
相談支援、自立訓練
就労移行支援、就労定着支援
就労継続支援A型・B型事業所
ペーカリー&カフェ
会員制サービス、健康教室
地域サポーター養成講座
研修・コンサルタント
農業生産加工、耕作放棄地開墾
地域お役たち隊(清掃、買い物支援等)
リサイクル・リユース、太陽光発電



soushinkai-group.com

REAL ABILITIES

株式会社 創心會
合同会社 連

株式会社 ハートスイッチ
社会福祉法人 創心福祉会

合同会社 ど根性ファーム
そうしんクリニック茶屋町

株式会社 リンクスライヴ

〒710-1101 岡山県倉敷市茶屋町 2102-14 TEL:086-420-1500 FAX:086-428-0946

新卒採用サイトがリニューアル!
創心會グループ



創心會グループ 障害福祉サービス事業の 支援の流れ



トピックス

自立訓練(生活訓練)
岡山南校
東岡山校
スタート

多様な働き方を
社会の中で創造することも
また
作業療法士の役割だと思う。



創心會グループ
株式会社 ハートスイッチ

人材・研修、就労支援、定着支援、自立支援、相談支援

倉敷校・岡山校・岡山南校・東岡山校

倉敷市茶屋町 2104-1 TEL:086-420-1500(代)

<https://www.heart-switch.com/>



訪問看護ステーション タウンサークル

主として精神疾患を有する方々の訪問看護とリハビリテーションに
多職種で取り組んでいます



(株) 八 豊 会



〒700-0952 岡山市北区平田 153-103

TEL : 086-259-2021 FAX : 086-259-2022



詳しくはHPで **URL** <https://town-circle.com/>

モノづくりとコトづくりのトータルプロデュース

75年間、「農」のフィールドで培ってきたさまざまな知識、幅広いサービス、それを展開するツール・・・

これらの「ノウハウ」を多業種へ展開し、地域を元気にします！

印刷

デザイン

Web

イベント
SNS



ノーイン株式会社

〒700-0031 岡山市北区富町2丁目5番27号
TEL.(086)252-5141代 FAX.(086)254-4019

www.feel21.co.jp/

ノーイン 検索



OG Wellness
Wellness and Beyond

筋刺激と鎮痛に加えて
測定まで
幅広い疾患や
症状で活躍



IVES Pro

電気刺激装置／筋電計
アイビスプロ／GD-6122・GD-6124

販売名：電気刺激装置／筋電計 GD-6122
電気刺激装置／筋電計 GD-6124
認証番号：304AABZX00050000 (GD-6122)
304AABZX00051000 (GD-6124)
一般的名称：低周波治療器／筋電計
クラス分類：管理医療機器／特定保守管理医療機器

GD-6122
最大2ch出力



GD-6124
最大4ch出力



物理療法機器・リハビリ機器・介護用入浴機器 **オージー技研株式会社** www.og-wellness.jp

【岡山本社】〒703-8261 岡山県岡山市中区海吉1835-7
【東京本社】〒100-6004 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング4階
【事業所】北日本支店・札幌営業所・盛岡営業所・北関東支店・新潟営業所・南関東支店・横浜営業所・千葉営業所・中部支店・金沢営業所・
関西支店・神戸営業所・中四国支店・広島営業所・高松営業所・九州支店・鹿児島営業所
ad-72-2405-1

受付時間（平日・休日 共通） 9:00～17:00 | 【平日受付コールセンター】 ☎ 0120-01-7181 | 【休日受付コールセンター】 ☎ 0120-33-7181 ※ 土・日・祝・年末年始 専用

いつでも どこでも あなたのそばに



意思伝達装置

発話が困難になった重度障害者を対象に、
身体の一部を僅かに動かし自分の気持ちを
伝えることができる装置です。

残存部位に適したスイッチや
視線入力装置、パソコンの固定台等
各種製品をご提案いたします。

アームサポート BFO

上肢の筋力低下や運動麻痺のある
方の装具。腕の重みを支え、左右に
スムーズに腕を動かすことができ
肘を曲げやすく補助することが
可能です。自宅や職場等あらゆる
場面でご利用できます。



HANE SHOP <橋本義肢が運営するオリジナル製品のネットショップ>

義肢材料やその製作技術を用いて、義肢装具を使用しない方々でも手に取っていただける商品の
開発をしています。例えば義肢装具の免荷や補高に使うフェルトを職人が手作業でカットし、
レーザータグを縫い付け、デスクマットとして販売しています。他にも身体へのフィッティング技術を
応用した犬用ハーネスや、様々な杖にフィットするカバー等、様々な商品を展開しています。

Amazon.co.jp HANESHOP を是非ご覧ください。



義肢・装具のご相談・製作・修理は

橋本義肢製作株式会社

<http://www.hashimoto.co.jp> E-mail ▶ info@hashimoto.co.jp

〒702-8025 岡山市南区浦安西町 32-13 TEL 086-262-0126



賛助会員

A会員

特定医療法人 万成病院
株式会社 アール・ケア
株式会社 リスコ
株式会社 創心會
一般社団法人 聖武福祉会

橋本義肢製作株式会社
訪問看護ステーション タウンサークル
オージー技研株式会社
就労移行支援 ハートスイッチ

B会員

株式会社 舟木義肢
東洋羽毛中四国販売株式会社岡山営業所
株式会社 アークリード

株式会社 オアシスジャパン
ノーイン株式会社

最新情報・研修会詳細などは、
HP・SNSをご覧ください。



県士会HP



公式LINE



公式X



岡山県士会員の皆様、あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

「1年が早い」という感覚は、年を重ねる毎に増してきているように思います。焦る気持ちすら感じるほど、時間の大切さが身に染みる日々です。人間は後悔する生き物、と言われることもあります。やりたいこと、新しいことを始めたいと考えているのであれば、新年を機に走り出してみたいはかがでしょうか。「新しい年」ということが背中を押してくれるかもしれません。私も日頃から、できるだけ後悔のないように過ごしたいと思いながら生活していますが、「やっぱりさっきの信号を曲がっておけばよかったなあ～」なんてこともよくありますよね。小さな後悔は気にしないように心に余裕を持ちたいです。

今月号も最後まで読んでいただき、ありがとうございました。
(中村)

一般社団法人岡山県作業療法士会ニュース 年4回発行(1、4、7、10月)

求人広告 1/4頁2500円 1/2頁 5000円 (詳細はHPもしくは広報部 杉本まで)

発行人：西出康晴

発行所：〒700-0071岡山県岡山市北区谷万成1-6-5

万成病院内 一般社団法人岡山県作業療法士会事務局

TEL 086-256-2701 FAX 086-256-2702

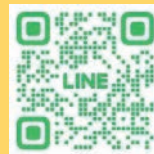
印刷：ノーイン株式会社

投稿先：〒702-8053 岡山市南区築港栄町2-13 佐藤病院 杉本 努

TEL 086-263-6622 FAX 086-264-6769 E-mail okaotnews@hotmail.com

一般社団法人 岡山県作業療法士会 (令和6年12月9日現在)

会員数 1152 名



第37回 岡山県 作業療法学会

つながる ～新たな一歩に向けて～



学会長 杉本 努（佐藤病院）

副学会長 黒住千春（川崎医療福祉大学）

実行委員長 藤岡 晃（岡山大学病院）

2025年 3月15～16日 | 川崎医療福祉大学

基調講演

『コンサルタントの立場から見たつながるコツ』

三好 貴之 先生

（株式会社 メディックプランニング）

OT同士だけでなく他職種、対象者、社会との
つながり方、社会保障や報酬制度を含めたこれ
からの働き方について、ご講演いただきます。

特別講演

『踏み出せ！今の自分』～ その先の作業療法 ～

佐藤 嘉孝 先生

（岡山精神科医療センター）

依存症外来、学生への薬物依存講演など、
社会保険外での様々な取り組みやOTの
可能性についてご講演いただきます。

シンポジウム“つながる力”

『つながる力』をテーマに働き方やキャリア
プラン、作業療法マインドを活かした
『つながる』体験談をご講演いただきます👏

登壇者

土居 義典 先生（有限会社 総合リハビリ研究所）

巻幡 優希 先生（ユニ・チャーム 株式会社）

石井 将人 先生（株式会社 富永調剤薬局）

保険部研修会

今さら聞けない 診療報酬・介護報酬のお金の流れ
～ 僕のお給料どこから来るの？ ～

藤岡 晃 先生（岡山大学病院）

岡山県作業療法士連盟研修会

県士会と連盟のつながり
～ 岡山県作業療法士連盟の役割と活動 ～

大月 博 先生（株式会社 アール・ケア）

★レセプション：会場内にて開催予定 ★県士会公式LINEから事前申し込みで**学会参加費割引！**